



小平市で多文化共生推進の取り組みを



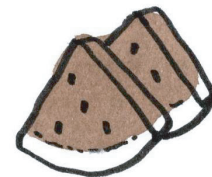
今年3月の議会では、多文化共生の取り組みについても質問しました。小平市の外国人人口は、今年1月1日現在で5,458人と過去最多になりました。総務省の「地域における多文化共生推進プラン」（2006年）は、市区町村に多文化共生の推進に関する指針・計画の策定を求めています。小平市は独立した多文化共生推進プランを策定していません。今年3月策定の文化スポーツ推進計画に「多様性への理解と多文化共生社会づくり」として、小中学校における多様性理解の推進、小平市国際交流協会(KIFA)との連携、多文化共生の推進のための調査や庁内外で連携しやすい環境の整備の3項目を掲げたにとどまります。

多文化共生推進プランと協議会の設置を

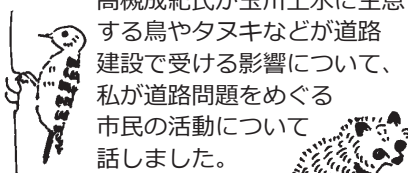
東村山市が今年3月に策定した第3次多文化共生推進プラン(全88ページ)は、外国籍市民への情報提供、相談窓口、日本語学習や災害時の支援体制などに関する施策を並べています。東村山市は、外国籍市民も参加する多文化共生推進プラン推進等協議会を設けており、協議会は毎年、市からプランの進捗状況の報告を受けて提言を出し、市は提言を受けて施策に反映すべく検討するというPDCAサイクルが回っている点も特徴です。

協議会の設置について、市の答弁は、東村山市など先進的な取り組みについて研究するというものでした。小平市で、第一歩として多文化共生を推進する独立したプランを策定し、外国籍市民が参加する協議会を設置し、取り組みを進めることが必要です。

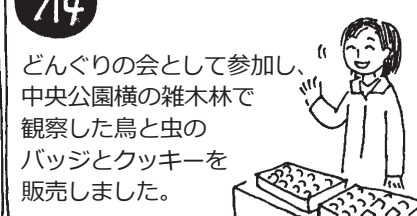
かずえの日誌



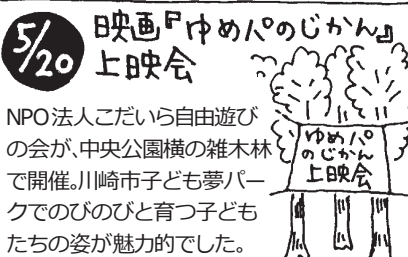
5/7 シンポジウム「小平の玉川上水の自然が危ない」
高槻成紀氏が玉川上水に生息する鳥やタヌキなどが道路建設で受ける影響について、私が道路問題をめぐる市民の活動について話しました。



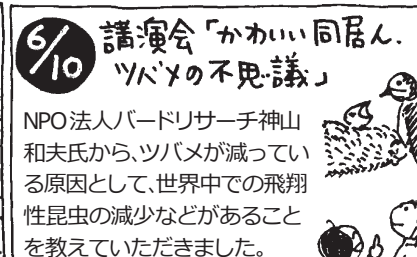
5/4 グリーンフェスティバル
どんぐりの会として参加し、中央公園横の雑木林で観察した鳥と虫のバッジとクッキーを販売しました。



5/20 映画「ゆめんのじかん」上映会
NPO法人こだいら自由遊びの会が、中央公園横の雑木林で開催。川崎市子ども夢パークでのびのびと育つ子どもたちの姿が魅力的でした。



6/10 講演会「かわいい同居人。ツバメの不思議」
NPO法人バードリサーチ神山和夫氏から、ツバメが減っている原因として、世界中での飛翔性昆虫の減少などがあることを教えていただきました。



求められるさまざまな支援策

そのほかにも、外国籍市民に対するアンケートの実施、健康保険、不就学の問題、相談体制の充実などを取り上げました。アンケートについては時期は未定だが準備を進める、健康保険は制度についての適当な周知方法を他自治体の例を参考に検討する、不就学については、昨年11月時点で児童6名の就学が確認できなかったとの答弁でした。相談体制については、外国人受入環境整備交付金(出入国在留管理庁)を活用して整えることを求めたところ、その必要性についてKIFAと意見交換していきたいという答弁でした。今後、一つ一つの実施状況を確認したいと思います。